

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム むつみ 2F	評価実施年月日	平成21年11月20日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年12月1日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>入居者様お一人お一人に対して、尊厳を守り人生の先輩として敬い、安心して生活していただけるよう、スタッフ一同励んでいる。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>スタッフそれぞれが、日々の生活支援の中で意識確認することができるよう、ネームプレートに刻印し常に念頭に置いている。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>当事業所内に理念を掲示し、来訪者様へ伝わるよう配慮している。</p>	○	<p>掲示することだけでなくその都度説明を実施していく。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>戸外では気軽に挨拶を実践することに努めている。近隣施設が併設しているため、漬物や野菜を持ってきていただいたり、野菜販売所での交流がある。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会の行事に積極的に参加できるよう努めている。また、野菜販売を通し地域の方々と交流や地域ボランティアの受け入れを行っている。敬老会や夏祭りなど行事を通してより親密な関係が保つことが出来るよう配慮している。</p>	○	<p>運営推進会議などを通して、むつみの事をご理解していただけるよう配慮していく。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>各会議や日常生活支援の会話の中から情報を共有し、都度話し合いを実施している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	自己評価を実施することにより各スタッフのスキルアップを図り介護知識・技術の習得に努めている。	○	評価内容を生かし、チームでの介護技術の習得、価値観の向上に生かしていきたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	運営推進会議にて頂いた意見や要望を生かし、サービス向上を目標に各スタッフ間で話し合いを実践している。	○	運営推進会議で話し合った内容を協議し、より高いサービスを実践していく。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	その都度不明な事項などがあれば担当者へ電話したり出向いたりしている。		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	権利擁護事業や成年後見制度など全スタッフが理解していないと思われる。管理者へ随時相談し必要性に応じ活用できるようにしている。	○	各スタッフが学習できるよう内部研修などを実践していく。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	内部研修を通し、高齢者虐待への意識することができるようにしている。また、定期的に会議を実施し、研修内容などを共有することができるようにしている。	○	内部研修を含め職員の意識向上、自己研鑽に努めていく。
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書、重要事項説明書を作成し、契約時、解約時に説明を行っている。随意、疑問点を解消していただけるよう説明・相談を実施している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情処理担当を窓口化し連絡先などを掲示している。、苦情については、全スタッフ間にて共有し、各会議等にて検討している。</p>	○	<p>入居者様に安心して穏やかに過ごしていただけるよう取り組んで生きたい。また、気軽に相談していただけるよう、開かれた施設を意識していく。</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>定期的に機関紙を発行し、入居者様の日々の様子や健康状態の報告を行っている。ご家族様の希望に応じ、電話連絡や電子メール、または来訪時に報告・相談を実施している。</p>	○	<p>ご家族の来訪時など、随時暮らしぶりの報告を実践していく。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にはご家族の代表に参加していただいている。ご家族の意見・不満・苦情などにはその都度傾聴し、意向に添うことができるよう努めている。</p>	○	<p>全スタッフに伝え、より良いサービスを提供できるよう取り組んでいく。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各会議やスタッフ間にて話し合いを実施している。</p>		
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>月初めには、月間予定表や個別状況(外出予定、通院、行事など)の把握に努め、それに基づき勤務体制を作成している。また、緊急時など柔軟な対応が出来るよう、スタッフ間にて調整を随時行っている。</p>		
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>各ユニットスタッフを固定し、なじみの関係の構築に務めている。</p>	○	<p>異動・離職などの場合には、入居者様に応じ個別に挨拶をするなど、入居者様に安心していただけるよう配慮していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新任研修や内部研修を実施しているが十分とは言えない。	○	外部研修や内部研修の充足をはかり、スタッフ育成に努めていく。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市内のグループホーム連絡会に参加し、交流会や研修に参加し質の向上に努めている。	○	他事業所とのネットワークを構築していきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	その都度、相談やアドバイスを受け入れるようにしている。休憩時間や有給休暇を消化できるよう配慮している。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	スタッフ各自が向上心を持てるよう配慮している。スタッフの得意分野を生かして能力を発揮できる機会を増やし生かしていくことができるようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	最初の面接時から入居者様の不安や悩みを把握することに努めている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居時にご家族の希望や要望、不安などを聞き入れ受け止めるようにしている。また、どんなことでも気軽に話をしていただけるよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その方に合ったサービスを提供できるよう、他の事業所との連携を含め対応に努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族及びご本人様に十分に当事業所の説明をさせていただき相談させていただいている。適宜、見学などをさせていただき雰囲気を感じていただけるよう配慮している。	○	体験入所などを検討していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	介護される人、介護する人という意識を持たないで常に対等であり、人生の先輩だという意識を持つようにしている。	○	意識付けを全スタッフにて共有していく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時や定期連絡などを通しご家族との連絡を密にし、より良い関係を築き、信頼していただけるよう努めている。	○	ご家族への関係作りを今後も続けていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	今までのご本人様ご家族の関係をお伺いした上で、情報の共有を行いながら良い関係を築き、保っていけるよう配慮している。	○	定期的な訪問又は連絡を依頼し、今後も継続しよりよい関係を保っていけるよう支援を行っていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	来訪をはじめ、行きつけであった美容室や商店、その他医療機関など、馴染みのある場所に出かけたりと関係が途切れないよう配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様の状況については、常にスタッフが把握し孤独感を感じることがないように支援している。状況にもよるが、食事や行事の場合など違う方と交流を持っていただけようしえんしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	様々な理由により退去された場合であっても、近況の確認をさせて頂くなど、関係を保っていけるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを通し極力お一人お一人の考えや希望を傾聴し、入居者様が望む生活が送っていただけるよう支援・援助させていただいている。ご意向が確認できない場合は、ご家族に相談しながら情報の把握に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面接や、また入居後にご本人との会話を通し、どのような生活を送ってこられたのかを把握し、各スタッフ間にて共有するようにしている。	○	今後もご本人様、ご家族様へ積極的にアセスメントを実施し、サービスの向上を目指していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	介護記録への記載を全スタッフが行き、各スタッフ間にて共有している。健康状態や特記事項についてはその都度スタッフ間にて確認し合い、その方の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の希望をふまえ、現状での状態把握を行い、各スタッフ間相談し介護計画の作成を実施している。	○	より良い介護計画立案のため、各スタッフの意見を聞きサービスの向上を目指していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な見直しに加え、心身の状態に変化があった際には、ご本人、ご家族と相談を行ったうえで介護計画の見直しを実施している。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常での過ごされ方や特記事項などを記載し、各スタッフ間での気づきを話し合うようにしている。また、記録の振り返りを行い、介護計画に生かしていけるよう取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者様、ご家族様と要望に沿うことができるようにしている。急な外出、法事や外食などにも柔軟に対応、ケアをさせていただいている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	敬老会や日常でのボランティア団体の演芸会を開催している。また関係機関とはその都度連絡調整を実施している。	○	地域交流を含め、ボランティアの受け入れを強化していく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	医療機関や主治医との相談を行い、必要に応じサービスを利用できる調整を実施している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターと連絡を取り合い、運営推進会議にも参加していただいている。センターの研修に出来るだけ参加し、スタッフの知識の習得を目指し実践している。		



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な受診を含め、かかりつけ医への相談を実施している。また、緊急時には主治医への相談・上申をしながら適切な医療が実施できるよう支援させていただいている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	主治医に現状をこまめに報告し相談や指示を頂いている。また協力医療機関として市内精神科病院との連携を密にしている。		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護ステーションと契約し、入居者様の日々の様子や変化の相談に応じていただいている。また、急変時には法人内の看護師と連携をとって対応させていただいている。	○	現在は無いが、ホームにも看護師がいて欲しいとの意見もあった。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関との連絡を密にし、定期的に訪問を実施している。約1ヶ月を目処に退院の調整を行い、必要に応じて退院後の支援・通院を実施している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	当ホームにての重度化した場合や終末期に対する方針を明確にし、ご本人、ご家族にお伝えし、入居者様(ご家族)が望む終末期を迎えられるよう支援している。	○	状況に応じ、入居者様(ご家族)と相談しながら、医療機関と相談の上対応していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	看取りに係る指針を作成し、入居者様・ご家族様の希望に添うことができるよう整備している。	○	状況に応じ、入居者様(ご家族)と相談しながら、医療機関と相談の上対応していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入居者様、ご家族と相談しながら必要に応じ対応を実施している。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者様の個性を尊重し、自尊心を傷つけないように配慮させていただいている。声がけの仕方や接し方を変えながら工夫して支援している。また、第三者の目に届かないよう記録の保管場所を考慮している。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>全ての入居者様に自己選択・自己決定を原則とし、できる限り自己決定をさせていただいている。意思や希望を引き出すことが出来るよう声がけの方法を工夫している。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>個々の入居者様の希望や状況を伺いながら、入居者様のペースに合わせた対応ができるよう心がけている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>入居者様の個性を大切にしながら、その日の体調や季節に合わせてさりげなく声がけさせていただいている。理容・美容についてもご本人の希望を重視できるようにしている。また、身体的に負担のある入居者様には訪問美容を利用させていただいている。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>ご自身でできることは行っていただけよう配慮しながら、季節感のあるメニューなどのお話をしている。入居者様の持っている力を十分に引き出すケアを工夫するとともに、楽しみを持って食事していただけるよう配慮している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	嗜好品については、ご本人様と相談の上、他の入居者様の迷惑にならないよう配慮しながら提供させていただいている。また、主治医への相談、報告を行い、健康管理には十分留意している。	○	嗜好品について、健康面へ配慮しながら可能な限り対応していく。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者様の排泄パターンを把握し、ご本人様に負担とならないよう、気持ちよく排泄していただけるよう配慮しながら排泄支援を実施している。訴えのない入居者様には、定期的に声がけを行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	全ての入居者様のニーズには対応できない状況もあるが(夜間入浴など)、楽しく入浴していただけるよう支援している。また、入浴に対して拒否傾向がある方には、時間をずらして再度声がけするなど工夫をしている。	○	入浴を楽しみにされている入居者様もいるため、入居者様のペースに合わせた支援を実施していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	入居者様のペースや生活習慣、年齢といった状況を個別に判断しながら、入居者様に合わせたケアを心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者様の能力やニーズを汲み入れ、役割として活かし声がけをしながら支援を実施している。	○	入居者様をしっかりと知り、何に対して喜びを感じるのかをアセスメントの中で見極めながら、今後の支援につなげていく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族とも相談をし、現金をを持ってらっしゃる方もおり、外出時にはご自分で買い物を楽しまれている方もいる。	○	金銭トラブルにつながることはないよう配慮していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者様の精神状況を見ながら外出支援を実施している。ご家族と外出や外食されて楽しんでいる入居者様もいる。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族の協力を得ながら外出機会を作っている。また、ご家族の送迎を楽しみにされている入居者様もいるため、個別による支援を実施している。	○	可能な限り入居者様の意向に添うことができるよう支援していく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族と疎遠にならないよう配慮している。身体状況により、電話や手紙を書くことが難しい入居者様もいる。	○	可能な限り入居者様の意向に添うことができるよう支援していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	常にホームへ来訪していただけるよう、空間を大切にしながらゆったりと過ごしていただけるよう配慮している。居心地の良い空間作りに取り組んでいる。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法令を遵守し、身体拘束についてスタッフが意識していけるようにしている。定期的な会議を実施し、話し合う機会を設けている。	○	今後も各スタッフの意識を高められるように、指導・自己学習を推進していく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	入居者様の状況や安全面を考慮しながら対応させていただいている。防犯を事由とし、20時から翌7時までには施錠させていただいている。	○	入居者様の安全を考慮しながら施錠しないケアを実践していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>定時での巡回など、城寺スタッフが見守りを実施しており、入居者様の安全性の保持と事故防止に努めている。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>個々において何が危険であるのかをスタッフ間にて話し合いを行い、保管する方法など工夫しながら支援させていただいている。また、インシデントレポートを活用し、危険因子の把握に努めている。</p>	○	<p>全スタッフがインシデントについて意識して対応できるように指導していく。</p>
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、常に確認しながら業務に従事している。整理整頓を心がけ、服薬管理をしたり、危険因子の排除や認識を深めて事故防止につながるよう実践している。</p>	○	<p>スタッフの退職や異動の際に指導していくとともに、定期的な確認を実施していく。</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>年に1～2回、消防署主催の救急救命についての講習を受講している。緊急時のマニュアルを作成し、著変事には速やかに対応できるシステム整備を実施している。</p>	○	<p>スタッフの退職や異動の際に指導していくとともに、定期的な確認を実施していく。</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>緊急時、災害時には非常召集できるよう連絡網を整備し、避難訓練を実施している。</p>	○	<p>実際に外へ誘導するなど、より実践的な避難訓練を実施していく。</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>ご家族との会話を多く持つようにし、その都度状況や対応の方法などをお伝えしている。また、各会議にて検討しリスクマネジメントを実施している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> <p>毎日のバイタルチェックの他、日常の中で顔色や表情、またご本人の行動やしぐさなどから体調の変化に気づくことができるようにしている。また各スタッフ間にて記録と共に、口頭にての引継ぎを徹底している。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> <p>入居者様の内服薬リストを閲覧しやすいようにしており、各スタッフ間にて内服薬の副作用や、通院による薬の変更による体調変化を見逃さないようにしている。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> <p>入居者様の食事摂取状況や水分摂取量、運動などバランスを考えた上で便秘に至らないよう配慮している。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> <p>起床時と毎食後の口腔ケアを実施している。ご自身で出来ることはしていただけるよう配慮し、自立支援へ向けた取り組みを行っている。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> <p>入居者様の摂取量を把握するとともに、個別にケア方法を考えながら支援している。</p>	○	既往病による食事制限など医療機関に上申しながら支援していく。
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>マニュアルを作成し、各スタッフ間にて共有し予防に取り組んでいる。インフルエンザ予防接種については、ご家族へご理解をお願いし実施することになっている。通院後や外出後など、うがいと手洗いを実施し予防に努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	新鮮な食材の使用を心がけ、また毎日の清掃・消毒を実践し、清潔な状態を保てるよう配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入り口に看板をつけたり、花を飾ったりし、立ち寄りやすい雰囲気を作るよう配慮している。また、季節感を入居者様が感じていただけるよう工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースには、手作りの作品などを展示し、生活感のある雰囲気作りをしている。	○	季節感を感じていただけるような空間作りに取り組んでいく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホール内にソファや椅子を置き、お一人での時間を楽しめたり、テレビを見たり、会話をしたりとゆったりと自然に過ごしていただけるよう配慮している。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	備えつきの家具があるが、入居時になじみの家具などを持ち込んでいただき、入居者様が居心地良く生活できるよう配慮している。	○	行事やご家族の写真などを掲示するなど、個別に取り組んでいきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	24時間換気システムを使用しているが、季節や状況に応じ換気を行っている。個々の居室で温度差が生じやすいため、こまめな調節を心がけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>廊下・トイレ等、生活部分には手すりを設置し、残存機能を活かしながら物を配置する位置を工夫しながら支援させていただいている。</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p> <p>生活意欲につながるよう、居室に表札を置くなど工夫しながら実践している。</p>		
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p> <p>屋外にて畑や花壇を作ったり、ベランダに花を飾るなどしながら、花に水を差せる環境を提供している。</p>		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> ①毎日ある <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="checkbox"/> ②家族の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③家族の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/>③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/>②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者様との時間を大切に、日常生活において困難な部分を援助していけるよう配慮している。  
医療機関への通院や相談を実施しながら、入居者様が安心して生き生きと生活していただけるよう努めている。  
話しあいの中で自己決定していただける機会を多くするよう努め、常によりそいながらケアを実践している。